



消防大学校だより

上級幹部科第86期における教育訓練について

消防大学校では、消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質の向上を目的として、総合教育「上級幹部科」の教育訓練を実施しています。

令和4年度の第86期では、46名の学生が1月11日（水）から1月27日（金）までの17日間にわたる集合研修を行いました。

研修では、前田消防庁長官の講話をはじめ、消防庁幹部による最新の消防行政の動向のほか、消防大学校客員教授等による危機管理、消防管理概論やトップマネジメントなどの講義、全国消防長会清水会長による講話を通して、組織の上級幹部として必要な知識、役割や心構えについて習得しました。



前田消防庁長官による講話

危機管理広報の実習では、組織内で不祥事が起きた際の報道対応（模擬の緊急記者会見）を行い、危機事案発生時の適切な広報技術の向上を図ることができました。



危機管理広報の実習

また、実火災体験型訓練では、火災の成長過程やフラッシュオーバー発生前の兆候など火災の性状について学んだほか、指揮シミュレーション訓練では、大規模災害等発生時における、受援都道府県、被災地消防本部及び緊急消防援助隊の役割等について理解を深め、緊急消防援助隊の受援に関する部隊運用能力の向上を図りました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、教室は、講師と学生との距離を十分に確保し、教室内に複数台のサーキュレーターを設置し、十分な換気を行うとともに、休憩時には講師が使用したマイクや教壇を学生が主体となり消毒を行いました。

寮生活は、原則外出・外泊は禁止していることに加え、共同して利用する食堂や浴室の利用に時間制限を設けるなど制約の多いものとなりましたが、学生一人ひとりが行動を律し、柔軟かつ適正に対応したことで、一人の体調不良者も出ることなく、無事に卒業を迎えることができました。

研修を終えた学生からは、「これまでに培ってきた知識や経験等が、本研修の授業や全国の同期の方々との情報交換を通じてブラッシュアップ



全員が無事に卒業

することができ、なおかつ、考えに確信を得ることができた。これ以上ない貴重な機会であると実感した」、「実際に組織のトップで活躍されているの方々から、いろいろな問題点や課題を聞くことで、今後の組織の構築と人材育成の進め方に目標を設定することが出来た」、「全国各地の幹部職員と情報交換することができ、顔の見える関係を築くことができた。」、「講師は皆さま著名で、研修内容や教職員の皆さまの接遇も素晴らしく、本当に入校できてよかった」などの感想をいただきました。

今後は、本大学校で学ばれた知識と磨きをかけた判断力に加え、全国の仲間から得た情報を活かして的確な消防行政運営に当たり、地域住民の負託に応えることを期待しています。



消防大学校だより



女性活躍推進コースにおける教育訓練

消防大学校では、今回で7回目となる、女性活躍推進コース第7回を開催しました（令和4年12月15日～12月23日）。



リモート講義

このコースは、女性消防吏員で消防司令補及び消防士長の階級にある幹部候補生に対して、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させることを目的として実施されるもので、全国の消防本部から59名の学生が、入校前のe-ラーニングによる個別学習を経て、2日間のリモート講義と、5日間の全寮制の集合教育を受講しました。

第7回では、最新の消防行政の動向や緊急消防援助隊の派遣経験のある女性消防吏員からの講義、女性のキャリアに関する講義、幹部として必要になる人事管理、実務管理、予防実務、部下指導のための教育技法やペップトーク、説得技法等の講義をはじめ、昨年に引き続き、警防面の更なるスキルアップを目的に、指揮訓練を実施しました。

「指揮訓練Ⅰ」では指揮隊運用訓練として、火災発生時の指揮隊の活動についてシミュレーション訓練（図上訓練）を行い、基本的指揮



指揮訓練Ⅰ

要領を繰り返し実習しました。その後、「指揮訓練Ⅱ」で建物火災対応時の指揮シミュレーション訓練を実施しました。指揮隊と活動部隊との情報共有や部隊連携の重要性などを学び、現場を統括する判断力・対応力を養い、

現場指揮技術及び安全管理能力の向上を図りました。

その他、「現場指揮と安全管理」では、事故事例から現場指揮に必要な安全管理について、さらには「火災現場指揮」では、火災現場に



火災体験型訓練の見学

における活動を想定し、現場と同様の熱、煙の状況をつくり、中性帯やロールオーバー等の火災性状を観察するとともに、注水による熱環境の変化や、脱出時間を確保するための注水技術を学びました。

本コースで、幹部として必要となる知識及び技術の修得を行うとともに、同じ悩みをもった仲間と今後のキャリア形成等について語り合うことで、幹部として活躍していく意識がさらに高まったものと考えます。学生からは「自分のキャリアプランを考える上でとてもいい経験ができた。」「全国に情報交換ができる仲間がたくさんできたことは大変有益であった。」等の声がありました。

今後は、全国の仲間とのネットワークを構築しつつ、研修で得たものをそれぞれの消防本部で還元し、すべての職員が活躍できる組織が実現していくことを期待しています。

消防大学校では、各学科、コースともに定員の5%を女性消防吏員の優先枠として設定し、女性の入校を推進しています。女性消防吏員の皆様の消防大学校への積極的な入校をお待ちしています。

問合せ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712